

高大撰津だより

高齢者大学同窓会 撰津 広報

第 13 回歴史探訪は、堺市大仙公園散策コース（10 月 25 日）を計画し、堺市博物館・仁徳天皇陵古墳・自転車博物館等を回る予定でしたが、参加者が少なく中止とさせて頂きました。

これに代わる探訪コースとして、近場で参加し易い所との要望もあり、アサヒビール吹田工場 & 西尾家住宅見学（12 月 14 日）を計画致しました。

第 13 回歴史探訪

アサヒビール吹田工場
& 旧西尾住宅を見学して

12 月 14 日 9 時 30 分頃参加者 12 名が JR 吹田駅に集合し、アサヒビール吹田工場へ向かいました。見学は 10 時から約 60 分位かけてビールの製造工程に従いガイドさんの案内で見廻りました。



見学工程を簡単に記します。

原材料の大麦を麦芽にして仕込み釜で仕込み、でんぷん質を麦芽糖に変えます。濾過槽で濾過して透明な麦汁にします。煮沸釜でホップを加えて煮沸し、ビール特有の芳香と苦みが生まれます。麦汁にビール酵母を加えて発酵熟成タンクで熟成されます（高サ 23m）熟成したビールを濾過フィルターでろ過して生ビールができ

ます。工場はオートメーションで完全自動化されております。

最終検査は、人の味覚によるチェックがあります。「人の関与」があり ホツとしました。

最後は皆で、試飲テーブルで美味しいビールを頂きました。



昼食は、メロード吹田の 38 階で中華料理を腹一杯頂きました。天気が良くて北摂・大阪市内が一望できました。



12 時 45 分ごろにメロード吹田を出て、9 名で旧西尾住宅を訪問しました。

西尾家は、江戸時代に吹田村の仙洞御料の庄屋をつとめていました。明治28年（1895年）主屋、積翠庵や、著名建築家武田五一氏設計による和洋折衷を試みた離れ西、東棟等、現存する和風建築として重要文化財に指定されています。

また、当主は茶人であることから、茶室が五もあります。立派な庭園の中には、茶室の積翠庵や、唐傘形の屋根をしたお客様を接待する待ち合い室があります。また来て見たい名所です。

川本 良明 <記>



2018年（平成30年）今年最初の行事、新年会を1月25日に実施しました。行き先は、近場でバスの送迎が可能な所との、会員の皆様の要望に沿って決めた 箕面・大江戸温泉物語です。



10時に参加者16名が阪急・摂津市駅前に集合しました。当日は 大阪市の最低気温-2.5度、最高気温4.4度で時々小雪が舞う寒い一日でした。会場に11時過ぎに到着、一息入れた後11時30分より宴会です、川本会長の挨拶、葎中副会長の乾杯の音頭で始まりました。美味しい料理を食べながら話に花が咲きました。



新年会を開催 箕面・温泉物語

お腹が膨らみ、会話が途切れたところでビンゴゲームです。一番目のビンゴは志築さん、お目当ての賞品を手に ご満悦でした。

ビンゴの度に座が沸いて楽しいひとときでした、全員に賞品が渡り終了です、今年も沢山の手作り品を 賞品に出して頂き有難うございました。

続いて13時より全員で大衆演劇を観ました、中休憩の後は そのまま演劇を観る方、温泉入浴の方、館内散策の方に分かれ、それぞれの楽しみかたで時間が経ちました。



15時過ぎに正面入り口に集合、集合写真を撮って15時15分に送迎バスで出発、帰路につきました。

外は寒いですが車内は暖かく、車窓に移る冬景色を眺めながら16時過ぎに阪急・摂津市駅前に到着しました。

お世話頂いた皆さん、参加頂いた皆さん 有難うございました。

山崎 徹 <記>

役員会から 報告

同窓会連協は、2月の理事会で〔枚方、旭、東淀川、大阪、東部、八尾、南部〕の7同窓会が退会し、分裂しました。従って残留した〔茨木、吹田、摂津、高槻、豊中、豊能、箕面〕の7同窓会で当面活動を行います。

当同窓会摂津は、2月1日の役員会において 残留を決め、2月理事会へ臨みました。今後も 会員各位のご支援をお願い致します。尚、詳細は 川本会長の「同窓会連協の分裂とその経緯」及び お届けした「れんきょう・絆 News 29号」を ご覧下さい。

2018年2月12日

同窓会摂津会員 各位

同窓会連協の分裂とその経緯

同窓会 摂津
会長 川本 良明

1、背景及び争点

昨年秋、数度にわたり高大側から、北部コミュニテイカレッジ（以下ONCC）に対し 法人一本化の話をもちかけたが、1月初めに物別れに終わった。

〔高大理事長の言い分〕は、

- ①、一つの同窓会に異なる考えの二つの学校の修了生が入会する（普通はありえない）。
- ②、地域同窓会組織は老人大学から引き継いだもの（高大の組織である）。
かってに いつの間にか、ONCCが高大の同窓会に入り込んできた。
- ③、五年前、高大から一方的に離脱、設立されたのがONCCである。高大の理事、幹部クラス10名位が去っていき、高大を混乱させた。
- ④、反高大の態度をとる会長 の同窓会には、受講生への説明会に招請しない。
反高大勢力を外し、「新同窓会」、「新同窓会連協」を結成する。

〔連協の反論（残留地域同窓会）〕

①、について

普通の同窓会はそうだ、老大からの地域同窓会は、学校との関係性は薄くゆるやかだ。老大の方針⇒修了後は地域のリーダーとして活動⇒のもと、老大、高大、ONCCに拘わらず運営してきた。ONCCは高大と和解したこと、地元地域での講座教室など、開講時から後援している。

②、について

その事実は確認できない。仮にそうなら、前項の地域同窓会の運営を尊重すること。

③、について

ONCCは、ONCC設立の経緯、5年前の双方による和解の事実を当時の文書等で説明するも過去の経緯に耳を貸さず「傘下に入らぬか、独自の同窓会を作ればよい」と言い。話し合いは不調に終わった。

④、去る者は、追わず・・・

各地域同窓会の判断で対処すること。

2、同窓会摂津としての対応

2月1日の役員会において検討の結果、全員一致で 高大の新同窓会（SD）、新連協（SDR）には入らない。現在の地域同窓会連協に参加していくことに決めました。

今後とも、同窓会摂津会員 皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

第 11 回健康教室

正しい健康の知識と楽しい運動

第 11 回「健康教室」を平成 30 年 2 月 26 日 コミュニティプラザ コンベンションホール 2 において開催しました。参加者は、たけのはな、体操の会、味生わくわくなどの健康体操グループから大勢の皆さんと、他の一般参加の皆さんを加えて 73 名で今回も活気溢れる教室になりました。講師は、連続 9 回目の池端 裕子先生、講話と実践指導は「正しい健康の知識と楽しい運動」でした。

先生



先生のお話は、私たち高齢者の運動は自分の出来る運動を少し無理して、毎日少しずつ行うことが大切とのこと。又、運動をされていない方は正しい知識を知って、身体や健康を意識してまず行動を起こして下さいとのこと。



認知症予防の観点から、私たちが体を動かすときに使う筋肉は脳の指令で動き、意識してしっかり筋肉を動かすことで脳の神経細胞が活性化します。従って意識して筋肉を動かすことで筋トレの効果も大きく、また脳トレにも繋がるお話でした。



続いての実践指導は声を出し明るく、楽しく前向きに合言葉に、手の運動や輪になって横歩きや屈伸運動などを行い運動と脳トレを実践しました。今回は認知症予防に重点をおき、有酸素運動に認知課題（頭の体操）を組み込んだ運動を多く実践しました。



今回も大勢の皆さんと声を出し、勢いよく体を動かすことの気持ち良さ、楽しさ、そして充実感を体験出来た 90 分でした。

山崎 徹 <記>

